

親子で集まれ

ベトナム料理塾開く

理事 - 郷 肥三



可愛い僕たちもベトナム料理に挑戦

1月22日(日)神戸市シルバーカレッジ調理室に、親子づれ22家族総勢68名の方が、参加してベトナム料理塾を開催いたしました。

講師はハ・ティ・タン・ガさん(NGOベトナムinKOBED代表)と打出真紀さん(NGOベトナムinKOBED)の2人をお願いしました。メニューは生春巻、鯛粥、バナナの春巻の3品を8テーブルに分かれて、それぞれ家族で協力しながら楽しく和気あいあい調理していました。

生春巻は野菜がたっぷりヘルシーな料理でした。バナナの春巻は珍しく比較的簡単に子どもたちも楽しく作っていた。家庭に帰って継続して子どもたちが料理作りに興味を持ってくれることを期待しています。

試食を済ませた後、ハ・ティ・タン・ガさんからベトナムの文化、子供たちの生活とか教育などについて話をいただきました。参加者の皆さんは非常に興味深く聞いておられました。

最近の知見によると、料理を行うことは脳を刺激し、心身を活性化することが解ってきたので、料理塾は今後とも機会があれば工夫して実施するテーマであります。

今回は長寿社会開発センターの後援を得るとともに、食文化9期生の協力を得て行われました。

ハ・ティ・タン・ガさんは「多くの人を教えるのに心配していましたが、リハーサルのおかげで、無事終了することが出来ました。シルバーといっても元気一杯の皆さんの姿はとてもうらやましく思いました。これからも宜しくお願いします」と話していました。

思わぬ出会いの合宿

手話コーラス部員が感激の交流

福8-文 山下 春美

1月24、25日フルーツフラワー・パークで、手話コーラス同好会OB・在校生の合同合宿を行いました。そこで思いがけない出会いがありました。定例のクラブ活動の練習では、時間的な制約や他の行事との重複等、満足な練習が出来ないと熱心な在校生からの要望で、今回の合同合宿となりました。宿舎に到着すると休む間もなく、約2時間猛練習をしました。

自由時間は三々五々、パーク内の大沢温泉「茜の湯」に浸かり、話に花を咲かせ、元気をもらいました。夕食時は、艶やかな笑顔で膳につき、ご馳走を肴に和気あいあいの談笑です。なかには得意の隠し芸等(手話コーラスだけではなく、部員一同芸達者ぶり)が飛び出す楽しいひと時でした。

ところが食事室前の手話コーラス

の名札を見て、福知山市身体障害者協会団体(30名)の幹事さんより「障害者のために是非、手話コーラスを教えてほしい」とお声がかかり、「見上げてごらん夜の星を」「夕焼け小焼け」など、誰もがよく知っている歌を演技したところ、協会の皆様も一緒に手を動かし、手話コーラスを楽しんでいただきました。

さらに芸達者な部員たちが銭太鼓やマジックをも披露して、友好を深めたのでした。

フルーツフラワー・パークでの合宿で、福知山市身体障害者協会の皆様と偶然の出会いでしたが、私たちの目標である「共に参加する手話コーラス」が、思いがけず実現することとなりました。また、神戸での楽しい思い出作りに寄与することが出来たのではと思っています。別れ際に皆様から「ありがとう」と喜びの声を聞かせていただき、部員一同、実りのある合宿にすることが出来たと、ボランティアの意義を感じています。

季節の草花

生8 - 久保 知彦

アブラナ

「菜の花や月は東に日は西に」(蕪村)「菜の花畑に入日うすれ...」(小学唱歌)と歌われた風景は過去のものとなりましたが、江戸時代には一面の菜の花畑がどこにでも広がっていたようです。

種子から菜種油をとり、その絞り粕が肥料に使われる油粕です。この菜の花こと「アブラナ」は、アブラナ科の植物です。

4枚の花弁が十字形に並び(かつて十字花科と呼んだ)6本のおしべ(その内4本が長いので四強雄蕊という)の花の特徴を持ったこの植物の仲間にはダイコンやカブラ、ハクサイ、キャベツなどの野菜、それにハボタンなどの花、ナズナ、タネツケバナなどの野の花があります。

最近では野生化したアブラナの仲間が堤防などに多く見られます。美しい風景ではありますが、河川敷が富栄養化している表れでもあり喜んでいいものでしょうか。

かつて九州を旅したとき、本州ではまだ寒い頃に鹿児島県の開聞岳のふもとでは、一面にアブラナが満開だったことが印象的でした。

